

## 社会・環境報告 (CSR)

## 環境経営の目標と実績

## 環境ビジョン2020の実現に向けた進捗状況

富士電機は中長期的な環境活動の道標として「環境ビジョン2020」を策定し、自らの環境負荷低減に加え、製品を通じた社会全体の環境負荷低減に貢献するため、具体的な環境活動項目と、その目標値を管理しています。

○:目標達成 △:一部達成

環境経営3ヵ年 ローリングプラン (2014年度～ 2016年度)	2014年度目標	2014年度実績	評価	2015年度目標	2016年度目標	環境ビジョン2020 目標
地球温暖化防止 (生産時のCO <sub>2</sub> 排出量削減)	<グローバル> 2006年度比 13.0%削減 (排出量33.2万 トン)	2006年度比 14.4%削減 (排出量32.6 万トン)	○	2006年度比 14.7% 削減 (排出量 32.5万トン)	2006年度 比 16.6% 削減 (排出量 31.8万ト ン)	2006年度 比 20.0% 削減 (排出量 30.4万ト ン)
	参考 <国内> 排出量 20.9万トン	排出量 19.9万トン	○	排出量 20.5万トン	排出量 20.0万トン	排出量 19.0万トン
	参考 <海外> 排出量 12.2万トン	排出量 12.7万トン	△	排出量 12.0万トン	排出量 11.8万トン	排出量 11.4万トン
地球温暖化防止 (製品によるCO <sub>2</sub> 排出量削減)	719 万トン-CO <sub>2</sub> /年	1043.3 万トン-CO <sub>2</sub> / 年	○	882万 トン-CO <sub>2</sub> / 年	1046万 トン-CO <sub>2</sub> / 年	1,700万 トン-CO <sub>2</sub> / 年
地球温暖化防止 (エネルギー使 用量原単位※削 減)	<国内> 2012年度比 2.58%削減	2012年度比 14.26%削減	○	2012年度比 3.85%削減	2012年度 比 5.10%削 減	2012年度 比 10.0%削 減
	<海外> 2006年度 比 7.7%削減	2006年度比 34.1%削減	○	2006年度比 8.6%削減	2006年度 比 9.6%削減	2006年度 比 13.1%削 減
循環型社会形成 (廃棄物の最終 処分率削減)	<国内> 最終処分率 0.5%未満	0.28%	○	0.5%未満	0.5%未満	0.5%未満
	<海外> 最終処分率 6%以下	8.57%	△	8%以下	7%以下	3%以下
循環型社会形成 (水資源投入量 削減)	<国内> 投入量 2010年度比 4.0%削減 (投入量8,340 千トン)	投入量 2010年度比 17.6%削減 (投入量7,158 千トン)	○	2010年度比 5.0%削減	2010年度 比 6.0%削減	2010年度 比 10.0%削 減
	<国内> 生産高原単位 2010年度比 4.0%削減	生産高原単位 2010年度比 4.5%削減	○	2010年度比 5.0%削減	2010年度 比 6.0%削減	2010年度 比 10.0%削 減

環境経営3か年 ローリングプラン (2014年度～ 2016年度)	2014年度目標	2014年度実 績	評 価	2015年度目 標	2016年度 目標	環境ビジョ ン2020 目標
	<海外> 生産高原単位 2011年度比 8.4%削減	生産高原単 位 2011年度比 44.7%削減	○	2011年度比 11.2%削減	2011年度 比 14.0%削 減	2011年度 比 25.0%削 減
エコ製品、スー パーエコ製品の 販売比率向上	エコ製品 42%	エコ製品 34%	△	エコ製品 48%	エコ製品 54%	エコ製品 70%
	スーパーエコ 製品 7.8%	スーパーエコ 製品 7.2%	△	スーパーエ コ製品 10.1%	スーパー エコ製品 12.4%	スーパー エコ製品 21.0%
化学物質 (指定物質: PRTR対象、 VOC)	<国内> 2010年度比 10.0%削減	排出量 PRTR: 18.5%削減 (排出量192ト ン)	○	2010年度比 13.3%削減	2010年度 比 16.7%削 減	2010年度 比 30.0%削 減
		排出量 VOC: 13.4%削減 (排出量265ト ン)	○	2010年度比 13.3%削減	2010年度 比 16.7%削 減	2010年度 比 30.0%削 減
	<海外> 2013年排出量 を超えない PRTR:1,340トン 以下 VOC:1,480トン 以下	排出量 PRTR: 1,241トン	○	2013年排出 量を超えな い	同左	同左
		排出量 VOC:1,352トン	○	2013年排出 量を超えな い	同左	同左

※国内は、原油換算エネルギー使用量を、各拠点で決めた生産数量や建物面積などのエネルギーの使用量と密接な関係を持つ数値で除した値(2012年度基準)。海外は、生産高当たりのCO2排出量(2006年度基準)

(注)環境に関する本報告は、富士電機の環境ISO認証取得サイトおよび取得活動中サイトのデータを集計(カバー:従業員数比 95.8%)